

観察研究へのご協力をお願い -日常診療で得られた皆さんのデータを利用させていただく研究-

社会医療法人 博愛会では、以下に該当される患者様を対象とした
臨床研究を実施しております。

トリプルネガティブ乳癌における主要組織適合性複合体
(Major Histocompatibility Complex; MHC) class I 発現と
腫瘍免疫に関する臨床病理学的検索

- 研究責任者： 相良病院 病理診断科 大井 恭代
- 研究の概要：
トリプルネガティブ乳がん（女性ホルモン受容体・HER2 が陰性の乳がん）における、
「MHC クラス I」というたんぱく質の働きと、がんと免疫の関係を調べています。この
研究により、乳がんの発生や治療反応に関わる免疫環境の解明を目指しています。
- 研究の対象となり得る患者様
西暦 2007 年 1 月 1 日から西暦 2014 年 6 月 30 日の間に、相良病院乳腺科で乳癌切除手術
を行い、標準的な術後補助療法を受けた患者のうち、組織学的にトリプルネガティブ乳
がんと診断された症例。
- 研究の方法
後向き観察研究
- 研究期間
倫理審査委員会承認日～西暦 2026 年 12 月 31 日
- 研究方法
すでに日常診療の中で得られているデータ（診療記録や検査結果、手術で得られた組
織標本など）を使って調べる「後ろ向き観察研究」です。
新たな検査や通院の必要はなく、患者さんへの負担は一切ありません。
- 情報の保管・管理
研究責任者は、研究等の実施に関わる文書（申請書類の控え、通知文書、研究対象者
識別コードリスト、同意書、症例報告書、その他データの信頼性を保証するのに必要
な書類または記録など）を医局の鍵のかかるロッカーに保管する。
保管期間は、研究の終了について報告された日から 5 年を経過した日又は研究結果の

最終の公表について報告された日から 3 年を経過した日のいずれか遅い日までの期間とする。

保管期間終了後に紙媒体に関してはシュレッダーで裁断し破棄する。その他媒体に関しては適切な方法で破棄する。

- 資金と利益相反

本研究は、現在研究助成金申請中である。本研究の研究者（飛田 陽）は、四国がんセンター臨床研究推進部から資金援助を受けている。

本研究の実施については、「社会医療法人博愛会 倫理委員会」で承認されています。

お名前・住所などの個人情報が本研究で利用されることは無く、あなたのプライバシーは厳重に守られ、一切公表されません。

このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者様のお一人ずつから直接同意を得る代わりに、研究の目的を含む実施についての情報を公開することが必要とされています。

本研究について何か気がかりな点や、より詳しくお聞きになりたい点等ございましたら、下記相談窓口までお問い合わせください。

本研究の対象に該当する場合であっても、ご自身の情報や画像情報を用いての本研究への協力をご希望されない場合は、あなたの情報を本研究に用いることは致しません。

その際は、遠慮なく下記「お問い合わせ窓口」までご連絡下さい。

2026 年 3 月



<問い合わせ 連絡先>

社会医療法人博愛会 相良病院

病理診断科 大井 恭代

電話：099-224-1800